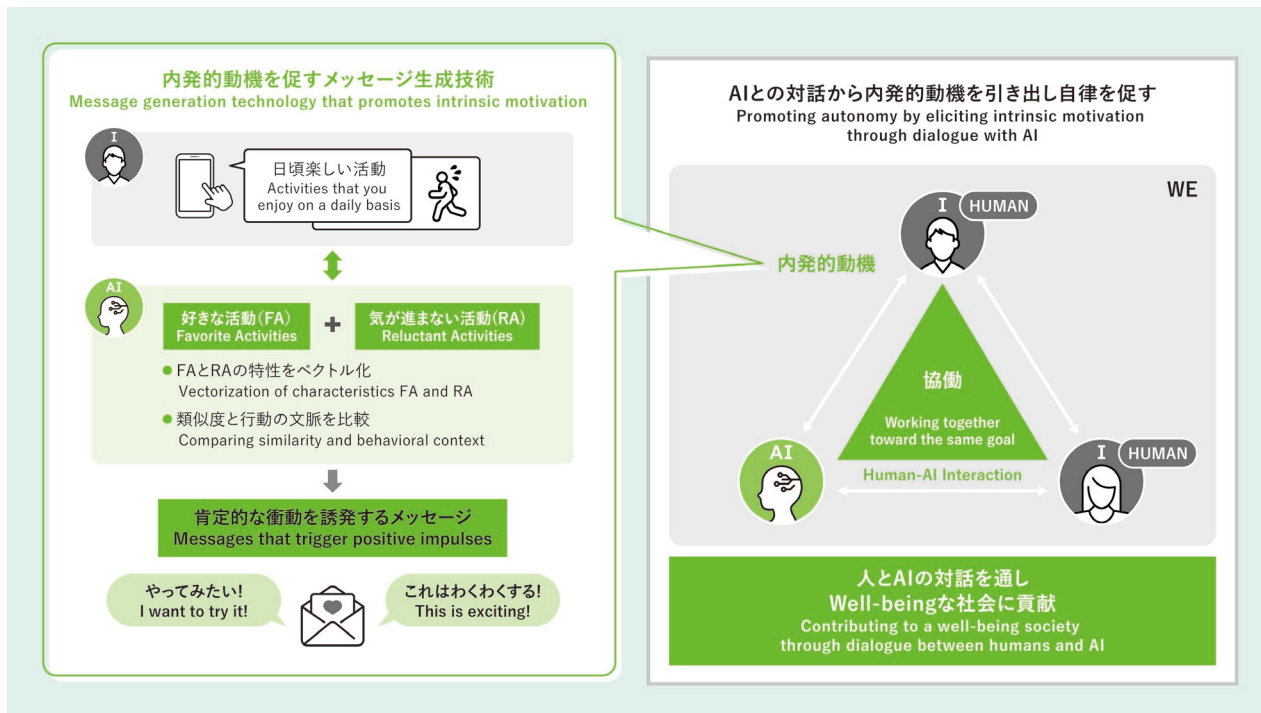


気が進まない行動に対する直感的な“やりたい”気持ちを引き出します 内発的動機を促すメッセージ生成技術

背景 - 技術課題

興味の少ない事柄（ヘルスケア・地域活動）への関心の醸成をはじめ、人や集団が行動変容し成長することを求められるシーンは多く存在します。従来の行動変容理論に基づく理性への訴求や、ユーザ特性を考慮したメッセージによって、ユーザが「これならできそうだ」と感じることは可能です。しかし、それでも気が進まない行動に対するやる気を引き出すことは困難でした。



研究目標 - 成果

本技術をはじめとする「人の成長を促し、人主体の協働を生み出すAI技術」を通じて、自律した個人がAIを活用しながら他者と協働し、社会全体が調和するWell-beingな社会に貢献します。

技術ポイント

01 要素技術

- ・ 神経科学、認知行動療法などの知見を踏まえ、肯定的な衝動を引き出すために重要な快要因に着目
- ・ 一人ひとりの快要因を質問紙で把握し、気が進まない行動と組み合わせた行動アドバイスを生成

02 市中技術差異点

- ・ ユーザ固有の直感的な衝動を引き出す動機付けメッセージ生成が可能
- ・ 本技術は少ない質問数（最小2問）でメッセージ生成が可能
- ・ 行動に取り組む前の段階での動機付けが期待できる

利用シーン ヘルスケア

R&Dフェーズ 研究

技術確立予定時期 FY25-26

ビジネス化予定時期 FY25-26

【出展企業】
NTT株式会社 社会情報研究所

【共同出展社/社外連携先】
—

【問い合わせ先】
Well-being研究プロジェクト

【関連Link】
<https://youtu.be/KsgZZaCSc8Y?si=dkmOeZRyBsAjaTFF>